

令和7年度 重点・重要事項 提案・要望書



梅丈岳上空から望む美浜町

令和6年9月
美 浜 町



町政推進にかかると重点・重要事項 要望

日頃より、本町の振興及び行政運営につきまして、格別の御理解と御支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本町では、美浜町総合振興計画を柱に、「にぎわいゾーン整備」「地域力の向上」「人口減少対策」など5つの優先施策を掲げ、選択と集中、官民協働による機動的なまちづくりに取り組んでいるところであります。

優先施策の一つ、「北陸新幹線敦賀開業」につきましては、県のご支援を頂き、観光施設の魅力アップ事業や地域ブランドの確立、出向宣伝など誘客活動に取り組み、本年3月の開業以降、所要の開業効果を得ることができたと考えておりますが、今後も持続的に開業効果を享受するためには、本町はもとより広域的な観光施策の展開が必要不可欠であります。

また、今般、原子力基本法の改正やGX推進戦略では、原子力の最大限の活用をはじめ、原子力発電事業にかかる国と事業者の責務が明確に示されるなど、将来を見据えた新たな原子力政策が位置付けられ、立地地域が果たす役割が益々大きくなるものと考えています。

しかしながら、本町では、安全を最優先とした原子力との持続的な共生はもとより、人口減少・少子高齢化対策や安全安心な生活環境の充実、観光や地場産業の振興など喫緊かつ重要な課題に直面しているところであります。

つきましては、「みんなで ^{つく}創り ^{つな}絆ぎ ^{つど}集う ^{うま}美し美浜」の実現に向けたまちづくりにあたり、次に掲げる重点・重要事項の解決について、特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年9月13日

福井県知事 杉本 達治 様

美浜町長 戸嶋 秀樹

目 次

■ 重点要望

1	原子力との共生に向けた取り組みについて	……1
2	北陸新幹線敦賀開業効果の最大化と 大阪・関西万博等を見据えた観光誘客支援について	……4
3	周遊観光等のための地域交通の充実について	……5
4	観光おもてなし環境整備について	……6
5	広域路線バスの支援について	……8
6	第二園芸カレッジの整備について	……9
7	美浜町エネルギービジョンの強力な推進について	……10
8	地域医療の格差是正について	……11
9	廃棄物処理施設整備に対する支援について	……12
10	国内最高峰のローイング競技拠点化に向けて	……13
11	伝統文化継承の更なる支援について	……13

■重要要望

- | | | |
|----|-----------------------------------|------|
| 1 | 土砂災害特別警戒区域対策(急傾斜地等)について | ……14 |
| 2 | 河川における浚渫、護岸改修及び海岸堆積砂の
防止対策について | ……14 |
| 3 | 道路の整備について | ……15 |
| 4 | 農業農村整備事業について | ……15 |
| 5 | 地域農業の振興に係る支援について | ……16 |
| 6 | 建設発生土の活用について | ……16 |
| 7 | 林産物の特産品化に向けた
農地整備及び栽培の支援について | ……17 |
| 8 | 畜産振興に向けた総合的な支援について | ……17 |
| 9 | ヒシの流出防止対策について | ……17 |
| 10 | 海洋ゴミ処理等にかかる総合的な支援について | ……18 |
| 11 | 史跡・史実を活用した観光客誘致に係る支援について | ……18 |

重点要望事項



重点 1 原子力との共生に向けた取り組みについて



【重点要望事項の内容】

1 原子力政策について

(1) 原子力政策の推進について

(防災安全部 原子力安全対策課、エネルギー環境部 エネルギー課／エネルギー政策課)

①次期エネルギー基本計画における原子力政策の明確化について ※新規

エネルギー基本計画は、国のエネルギー政策の根幹をなすものである。

次期エネルギー基本計画に、リプレースなど原子力の最大限の活用ならびに、立地地域の振興や避難道路の整備など、安全安心の最大限の確保について登載するとともに、国と事業者の責務として取り組むことを明記するよう国に要請願いたい。

②バックエンド対策の着実な推進について ※継続

原子力政策を着実に推進するため、大きな課題となっているバックエンド対策について、六ヶ所再処理工場の確実な稼働はもとより、中間貯蔵施設・最終処分地など、具体的な将来展望を早期に示し、具現化に向けた取り組みを強力に推進すること。

また、関西電力が示している「使用済燃料対策ロードマップ」について、国が前面に立ち、事業者とともに確実に履行されるよう、総力を挙げて取り組むことを国に要請願いたい。

(2) 国民理解の醸成について ※継続

(防災安全部 原子力安全対策課／エネルギー政策課)

原子力発電にかかる必要性・重要性をはじめ、高レベル放射性廃棄物の最終処分地選定や核燃料サイクルなどバックエンド対策については、電力消費地はもとより、その恩恵を享受してきた国民全体の課題として受け止められるよう、国民理解の醸成を強力に推進することを国に要請願いたい。

また、県においても、嶺南と嶺北の間で原子力発電の理解に温度差のある現状を看過することなく、県民理解の醸成により一層注力いただくようお願いする。

(3) 廃炉対策について ※継続

(防災安全部 原子力安全対策課／エネルギー政策課)

美浜1・2号機の廃止措置を安全かつ着実に進めるには、放射性廃棄物やクリアランスレベルの廃棄物並びに使用済燃料の搬出、処分が前提であるが不明瞭な状況にある。

については、国が前面に立って処分場の確保、国民理解、法整備など早期解決に向けた取り組みを加速するよう国に要請願いたい。

2 原子力防災対策の充実強化について

防災関連道路の多重化・強靱化について ※継続

(エネルギー環境部 エネルギー課、土木部 道路建設課：道路保全課／土木建築課)

本町は、長年に亘り、大きなリスクを背負いながらも原子力政策に協力し、国の発展に寄与してきた。しかしながら、原子力を取り巻く情勢が大きく変動する中、本町にとって、原子力災害時の安全安心の確保は、極めて重要な施策課題となっている。

とりわけ、本町は嶺南地域において、唯一南北方向に通じる避難道路が整備されていない。また、避難や制圧道路となる幹線道路は、脆弱な山腹法面を抱え、落石等の発生が予想されることや、電柱が林立するなど、まさかの時の機能不全が憂慮され、大きな不安に繋がっている。

よって、安全安心の最大限の確保、地域住民の不安解消のためにも、下記事項について、早急に対応して頂きたいと、特段のご理解とご尽力を強く願います。

①避難道路の多重化

美浜町新庄～滋賀県高島市間 道路新設

L = 6.3 km C = 190億円

②避難道路の強靱化

ア. 県道松屋河原市線

○狭窄部など道路拡幅、線形改良

- ・新庄馬場集落内 N = 1箇所
- ・新庄馬場集落～松屋集落間

1車線→2車線化 L = 3.2 km

○狭窄部、脆弱部の改良

- ・県道のルート変更
- ・橋梁整備（水力発電所付近） N = 1箇所

イ. 県道竹波立石縄間線

○無電柱化 水晶浜～丹生集落 L = 3.8 km

○狭窄部改良 水晶浜北端～竹波集落 L = 0.2 km

3 地域振興について

(1) 立地地域の将来像の実現について ※継続

(エネルギー環境部 エネルギー課／まちづくり推進課、エネルギー政策課)

嶺南地域では大きなリスクを抱えながらも、現在7基の原子力発電所が稼働し、国のエネルギーの安定供給、安全保障に大きく貢献している。

原子力発電所の再稼働に際し、共創会議で示された「嶺南地域の将来像」は、地域振興の柱として、その期待は大きいですが、進捗を肌で感じる状況には至っていない。

そのため国は、事業者や関係機関と連携を図り、立地目線をもって、その実行・実現に向けた取り組みを加速することを国に要請願いたい。

(2) GX産業立地について ※新規

(エネルギー環境部 エネルギー課／エネルギー政策課)

生成AIの利用拡大に伴い新設が見込まれる電力消費型データセンターの再エネ地域など、迅速な接続が可能な地点への立地促進策を検討するにあたって、その誘導先として原子力発電の立地地域を視野に入れることを国に要請願いたい。

(3) 再稼働を考慮した原子力立地給付金の拡充について ※継続

(エネルギー環境部 エネルギー課／総務課)

原子力立地給付金の原資となる電源立地地域対策交付金（電源立地特別交付金相当分）の拡充を図るとともに、原子力発電所の立地市町の理解と協力による再稼働や、40年超運転がもたらす現実的な社会経済活動貢献度等を考慮し、給付金が加算される制度に拡充することを国に要請願いたい。

重点 2 北陸新幹線敦賀開業効果の最大化と

大阪・関西万博等を見据えた観光誘客支援について



【重点要望事項の内容】

本年3月、長年の悲願、北陸新幹線敦賀開業が実現した。町では、これまで県の支援により観光施設の魅力アップ事業や地域ブランドの確立、出向宣伝など誘客活動に取り組み、所要の開業効果を得ることができたと考えている。

これから、インバウンドも含め、持続的に開業効果を享受するためには、広域的な観光施策の展開が必要不可欠である。

このことから、次の事項について特段の支援をお願いしたい。

1 観光誘客活動の支援について ※継続

(交流文化部 観光誘客課：新幹線開業課／観光誘客課)

北陸新幹線敦賀開業を皮切りに、大阪・関西万博やワールドマスターズゲームズ関西等、世界各国から来日するイベントが開催される。国内はもとより、海外からの人流を県内に誘導するため、広報やプロモーション活動について、県が主体となり、近隣府県を含め関係機関が一体となった効率的かつ効果的な誘客活動の展開をお願いする。

2 観光誘客キャンペーンの展開について ※継続

(交流文化部 観光誘客課：新幹線開業課、嶺南振興局／観光誘客課)

「青々吉日 TSURUGA WAKASA」周遊キャンペーンについて、県と市町が強力に連携・連帯し、機動的かつ効果的な活動となるよう牽引願いたい。キャンペーンの成果をしっかりと検証し、持続的に宿泊や食による経済効果が地域に波及し続けるような仕組みの構築をお願いする。

3 小浜線の活用による観光の活性化について ※継続

(未来創造部 地域鉄道課、嶺南振興局／観光誘客課、まちづくり推進課)

小浜線沿線活性化については、JR西日本等の関係団体としっかり連携しながら進めていただくとともに、県独自の観光列車や「わかさいくる」を見据えたサイクルトレインを運行するなど活性化実現に向けた強力な取り組みをお願いする。

重点3 周遊観光等のための地域交通の充実について



【重点要望事項の内容】

1 広域周遊バスの運行について ※拡充

(交流文化部 観光誘客課、嶺南振興局／観光誘客課)

観光資源を有機的に繋ぐ輸送手段として、ゴコイチバス形式の広域周遊バスの運行が大変有効であるため、継続的な運行と財政支援をお願いする。

2 観光周遊型X Rバスの若狭地域での運行について ※継続

(交流文化部 観光誘客課／観光誘客課)

令和6年6月から民間事業者が運行している観光周遊型X Rバスについて、若狭地域も周遊ルートとなるように、民間事業者へ働きかけていただきたい。

3 小浜線のキャッシュレス化について ※継続

(未来創造部 地域鉄道課／まちづくり推進課)

敦賀駅を拠点とする鉄道路線は、J R小浜線を除き全てI C O C Aが導入され、キャッシュレスでの乗車が可能となっている。北陸新幹線敦賀開業に伴い、首都圏から敦賀へのアクセスが向上し、嶺南エリアへの入込客も増加しているが、キャッシュレス非対応であることから小浜線乗継ぎの大きな支障となっている。

また、J R西日本により2030年の小浜線の無人駅化が計画されていることから、利便性が著しく低下することが懸念される。

よって、北陸新幹線敦賀開業の効果を最大限に生かすとともに、小浜線利用者の利便性向上のため、I C O C A等のキャッシュレス決済システムの小浜線導入についてJ R西日本に働きかけていただくようお願いする。

4 混雑状況配信システムの機能強化について ※継続

(交流文化部 観光誘客課、嶺南振興局／観光誘客課)

観光施設駐車場の混雑状況配信システムについて、現状のライブ配信をリアルタイムで発信できるように、A Iによる自動化等、利用者に寄り添った仕組みとなるよう機能強化について支援をお願いしたい。

また、県外等からの人流を考慮し、表示盤（デジタルサイネージ）の設置場所の増設について支援をお願いしたい。

重点 4 観光おもてなし環境整備について



【重点要望事項の内容】

美しい自然景観を観光の柱とする本町において、来訪者の満足度を向上させるためには、自然景観の保全が重要であるため、次の支援をお願いする。

1 海岸漂着ごみ対策の予算確保について ※継続

(エネルギー環境部 循環社会推進課／住民環境課)

毎年、海岸漂着ごみの対応については、大変苦慮している。県では、令和4年3月に策定した福井県海岸漂着物対策推進計画に基づき、予算措置など所要の施策を進めていただいている。

令和6年度は当初より例年以上の予算確保をしていただき、夏の観光シーズン前には回収などある程度対応できたが、全て処分できない状況にあり、引き続き追加予算措置をお願いしたい。

2 「シンボルロード」の整備について ※継続

(土木部 道路建設課／土木建築課)

本町は、自然景観に特化した観光地が多く、ドライブやサイクリングなど道路利用者から眺望に対する期待は大きい。

そこで観光地を結ぶ道路を「観光道路」として位置づけ、県と町、地元住民が互いに協力し合い、美しい道路景観を維持保全する必要がある。

特に、美浜駅からレインボーラインを結ぶ県道日向・郷市線の一部区間については、長年にわたり地元住民による花壇の整備など美化活動が行われ、ドライバーやサイクリストなど道路利用者から高く評価されている。

よって、その区間を「シンボルロード」(L=1.6km)として、より魅力的な観光おもてなし道路となるよう次の措置を講じていただきたい。

(1) シンボルロードの再整備

- ①歩道修繕
- ②劣化した街路樹の植替え

(2) シンボルロードの管理強化

- ①道路の定期的な除草及び清掃
- ②機動的に管理活動ができる町民参加型の支援体制の構築への支援

3 嶺南振興プロジェクト事業の強化について ※新規

(嶺南振興局／まちづくり推進課、土木建築課)

北陸新幹線敦賀開業の効果を最大化し、さらには大阪までの早期全線開業に向け、観光地のレベルアップのための景観整備、道路補修事業などを実施し、観光入込客数の増加、地域への経済効果を高めることが重要な時期にある。

しかしながら、県に対し要望している関連事業については、事業採択が十分でないことから、計画的な整備が進められるよう嶺南振興プロジェクト枠予算の増額をお願いしたい。

4 浦見川の安全航行と周辺環境整備について ※継続

(嶺南振興局／観光誘客課)

浦見川は、四季折々の彩りを見せる三方五湖遊覧の見どころの一つとなっているが、河川左岸の法面の一部に不安定な箇所が見受けられることから、船舶の安全航行の観点から、必要な措置を講じられたい。

同時に、倒竹や樹木が繁茂しており魅力ある景観を阻害しているため、伐採等の環境整備もお願いしたい。

5 恐竜モニュメントの配備等について ※新規

(魅力創造課／観光誘客課)

福井県は、恐竜王国として国内外問わず多くのファンを魅了している。この魅力を若狭地域にも波及させるため、レイクセンター等の観光拠点に動く恐竜モニュメントやベンチ、CG映像による演出等の整備をお願いしたい。

重点 5 広域路線バスの支援について



【重点事項の内容】

近年、人口減少や自家用車の利用が進み、公共交通の利用客は減少傾向が続いている。一方、高齢化社会が進む中、生活の足としての外出手段の確保が大きな課題となっている。

本町の生活圏である敦賀市につながる広域路線バスは地域の足として重要な役割を担っており、この路線を維持するため、下記の2点について支援をお願いする。

1 広域路線バスに係る国、県の支援について ※新規

(未来創造部 交通まちづくり課／住民環境課)

広域路線バスは国・県補助金、運賃等により運営しており、赤字部分については、関係する市町で補填している状況である。年々、利用者の減少に伴い、国・県補助金が減額となり、補填額が年々増加し、町の財政負担も厳しい状況である。

現行の補助制度は、少子高齢化などの現在の社会情勢に対応していないものと考えられ、地域の実情にあった補助制度への改正や新たな制度の創設など、国に対し支援措置を求めるとともに、県においても同様の支援措置をお願いする。

2 運転手確保に向けた支援について ※新規

(未来創造部 交通まちづくり課／住民環境課)

路線バス運行事業者においては、恒常的に運転手不足の状態が続いており、採用増に取り組んでいるが、離職数が採用数を上回る状況が続いている。

本年度、県においては運転手確保に向けた支援を打ち出されたが、令和7年度以降も路線バス維持のため、引き続き運転手確保に向けて一層の支援をお願いする。

重点 6 第二園芸カレッジの整備について



【重点要望事項の内容】

第二園芸カレッジの整備について ※継続

(農林水産部 園芸振興課／産業政策課)

令和6年3月に策定された福井県農業基本計画『次世代へつなぐ、希望あふれるふくい食・農・環境計画』において、農業人材を育成し、嶺南地域を園芸振興で活性化することを目的として整備が予定されている『第二園芸カレッジ』について、本町の『農業人材育成拠点施設』と密接に連携できるよう、計画段階から町との調整にご配慮願いたい。

また、第二園芸カレッジ整備においては、風光明媚な立地にある「園芸研究センター」、「園芸 LABO の丘」と一体的に活用できる施設とするとともに、更に「園芸 LABO の丘」北側エリアを拡充し、その特性を活かして農業者に限らず、観光拠点として、人が集まるより開かれた農業・観光振興エリアとなるようご検討いただきたい。

重点7 美浜町エネルギービジョンの強力な推進について



【重点要望事項の内容】

嶺南Eコースト計画の連携推進について

本町では、「美浜町エネルギービジョン（H29.3策定、R3.3改定）」に基づき、原子力との共生を図りつつ、再生可能エネルギーを活用したまちづくりを推進しているところである。本計画は、県の「嶺南Eコースト計画」等に定める新たな技術等を活用し、更なるビジョンの推進を図って行くこととしている。

については、「嶺南Eコースト計画」と本ビジョンとの強力な連携をお願いする。

1 「きいばす」の充実・強化について

（1）エネルギー環境教育の推進と管理運営体制の強化 ※継続

（教育庁 教育政策課：教職員課：義務教育課、エネルギー環境部 エネルギー課／エネルギー政策課、教育総務課）

本町のエネルギー環境教育体験館「きいばす」を、次代を担う子どもたちの「エネルギー教育推進」の拠点施設として位置付け、機動的な活用が図られるよう、教育プログラムの高度化や施設機能の充実強化はもとより、財政支援や人的支援など運用面においても積極的な支援を行うこと。

また、学校教育カリキュラムの充実強化を図るにあたっては、子どもたちが「きいばす」を活用し、原子力発電をはじめエネルギーをしっかりと学び体験する場を組み込むなど、若い世代から機を逸することなく、国が主体となり機動的な理解醸成に努めることをお願いする。

（2）新たな試験研究炉との連携による「きいばす」の活用について ※継続

（教育庁 教育政策課：教職員課：義務教育課、エネルギー環境部 エネルギー課／エネルギー政策課、教育総務課）

「もんじゅ」サイトを利用して敦賀エリアを原子力・エネルギーの中核的研究開発拠点とする試験研究炉等の整備が進められているが、その関連施設の計画・整備等に当たっては、地勢的条件から立地市と同等のエリアとして事業推進に協力してきた本町の経緯を十分に考慮し、新試験研究炉等を活用した地域振興について特段の支援を行うことを国に求めるようお願いする。

併せて、本町のエネルギー環境教育体験館「きいばす」を深化させ「ビッグきいばす」として強化を図り、この地域が新技術等の学習・研究エリア、関連産業エリアとして広く発展できるよう支援することをお願いする。

重点 8 地域医療の格差是正について



【重点要望事項の内容】

1 嶺南医療圏としての機能の充実について

(1) 高度急性期の医療の充実について ※継続

(健康福祉部 地域医療課 /健康福祉課)

緊急性の高い脳卒中や心筋梗塞等の救急医療については、公立小浜病院に救命救急センター（ミニ）があるものの、美浜町においては市立敦賀病院等を経由し県立病院等に搬送されており、回復期や急性期に比べ高度急性期の区内完結率が低い。

嶺南医療圏内での高度急性期を含む医療の完結や、緊急性の高い疾患の搬送時間短縮のため、区域内において4大病院（県病、福大、日赤、済生会）並みの医療機能充実を図っていただきたい。

また、嶺南医療圏の医療体制を維持するため、医師や看護師等の医療従事者確保、更には財政支援をお願いする。

(2) 安心して子育てできるための医療体制整備について ※継続

(健康福祉部 地域医療課 /こども未来課、健康福祉課)

疾病や障がい等を理由に、医療圏を越えて専門医へ受診する必要がある乳幼児も一定数存在する。安心して子育てできる環境づくりが喫緊の課題となっているため、第8次福井県医療計画に示されている、公的病院等の役割分担と連携や産科・小児科の体制について検討し、嶺南地域における効率的な医療提供体制を早期に進めていただきたい。

2 地域医療の充実強化について

(1) へき地診療所の医療従事者確保について ※継続

(健康福祉部 地域医療課 /健康福祉課)

へき地診療所(丹生診療所)への医師の継続的な派遣協力をお願いする。

(2) へき地におけるオンライン診療の継続支援について ※継続

(健康福祉部 地域医療課 /健康福祉課)

昨年度、「へき地におけるオンライン診療実証事業の検証」が終了したが、医療資源が潤沢といえない地域では、オンライン診療を活用すべきとの方向性を国が示していることから、今後も市町としっかり連携し、検証を継続しながら主体的に取り組みを進めていただきたい。

（３）高齢者の新型コロナワクチン接種に関する支援について ※新規、若狭町共通

（健康医療局 保健予防課／健康福祉課）

高齢者の新型コロナワクチン定期接種について、発症予防・重度化予防のために来年度以降も低額な自己負担額で接種できるよう、国による補助を継続するよう、国に対して強く要望していただきたい。

重点 9 廃棄物処理施設整備に対する支援について



【重点要望事項の内容】

廃棄物処理施設整備に対する支援について ※継続、敦賀市共通

（エネルギー環境部 循環社会推進課／住民環境課）

廃棄物処理施設については、生活で発生するごみを適正に処分するために必要不可欠な施設であり、生活の根幹に係る替えのきかない大変重要な施設である。

新しい清掃センターの整備にあたっては、循環型社会形成推進交付金のエネルギー回収型廃棄物処理施設及びマテリアルリサイクル推進施設の交付対象事業として採択されており、今後、複数年に亘り長期間の工事を行い、令和８年度の完成に向け整備を進めているところである。

しかし、新しい清掃センターの整備については、大規模な財政負担が生じるため、施設の整備完了までの財源確保が必要となる。

今後も、計画的に施設整備を進めるため、交付金対象事業について、その整備が完了するまで確実かつ安定的な財政措置を講ずるよう国に求めることをお願いする。

重点 10 国内最高峰のローイング競技拠点化に向けて



【重要要望事項の内容】

ローイング競技拠点化に向けた施設整備について ※継続

(交流文化部 スポーツ課、教育庁 保健体育課／教育総務課)

半世紀に及ぶ県と町との強力なタッグによる環境整備・普及拡大・競技力向上等の取り組みによって、「ローイング王国福井」「ローイングの町美浜」は、全国から広く注目される競技拠点へと成長を遂げてきた。

次なるフェーズとして「福井県美浜町」を国際基準の競技環境を備えた国内最高峰となるローイング競技拠点とし、「全日本級」さらには「国際級」大会の誘致を図り、交流・関係人口の拡大に向けて取り組んでいくため、引き続きご支援をお願いする。

- ① コース延伸化の早期完成
- ② 大会運営（2,000m レース）に係る備品等の整備
- ③ スタート地点の環境強化対策
- ④ レガシー記念館及び合宿施設の整備

重点 11 伝統文化継承の更なる支援について



【重要要望事項の内容】

伝統文化継承の更なる支援について ※継続

(交流文化部 文化・スポーツ局文化課／生涯学習推進課)

地域には、神事を起源とした芸能や祭りが伝統的に継承され、文化として定着してきた。それは、地域コミュニティの歴史そのものでもある。

近年は、人口減少、少子高齢化の影響から、伝統文化の担い手・後継者不足はどの地域も抱えており、また、伝統文化を維持・継承するため費用負担も地域に重くのしかかっている。

早瀬区の子供歌舞伎は最たる例である。その舞台である曳山は、日本遺産「北前船寄港地・船主集落」の構成文化財に加えられたが、子供歌舞伎あつての曳山であり、その維持・継承が困難となった場合、掘り起こした史実が消えていく懸念がある。新型コロナウイルスの影響もあり、地域の伝統文化の保存・継承は喫緊の課題である。

町でも文化財保護や地域力向上の観点から、地域への支援に取り組んでいるが、県の上としても地域の伝統文化が途絶えないよう幅広く強力な支援をお願いする。

重要要望事項



重要 1 土砂災害特別警戒区域対策

(急傾斜地等) について



【重要要望事項の内容】

土砂災害特別警戒区域（急傾斜地等）について ※継続

(土木部 砂防防災課／土木建築課)

急傾斜地崩壊対策、土砂災害特別警戒区域対策に対する、継続的な予算の確保について願います。

(1) 急傾斜地崩壊対策

- ①日向（橋坂山）地区
- ②菅浜（塩ヶ崎谷）地区

(2) 土石流対策

- ①丹生（阿弥陀川）地区

(3) 法面对策

- ①町道北田菅浜線（弁天崎付近）

重要 2 河川における浚渫、護岸改修及び

海岸堆積砂の防止対策について



【重要要望事項の内容】

河川等における浚渫について ※継続（海岸堆積砂の防止対策は新規）

(土木部 河川課：砂防防災課／土木建築課)

近年、多発する集中豪雨により水位の急速な上昇が見受けられる河川について、流域住民の安全安心や農地の保全等の観点から、継続して計画的に堆積土砂の浚渫、雑木の伐採及び護岸の改修を願います。

また、耳川河口の和田海岸においては砂の堆積が続いているため、対策を願います。

- ①耳川（2級河川）
- ②太田川（2級河川）

重要 3 道路の整備について



【重要要望事項の内容】

道路の整備について ※継続

(土木部 道路建設課：高規格道路課／土木建築課)

地域住民の生活空間における安全安心を確保するため、次の道路整備の早期着手をお願いします。

- ① 県道日向郷市線（早瀬・笹田地係）の改良
- ② 舞鶴若狭自動車道の4車線化
- ③ 県道日向郷市線道路改良事業の早期完成
- ④ 県道松屋河原市線の歩道整備の早期完成

重要 4 農業農村整備事業について



【重要要望事項の内容】

農業農村整備事業について ※継続（ため池、農道保全是新規）

(農林水産部 農村振興課 農地保全整備課／土木建築課)

農業経営の安定と営農効率の向上を図るため、県営による用排水路・農道等、農業基盤の整備事業に対し、継続的な予算の確保をお願いします。

- ① 中山間地域総合整備事業（一般型）美浜第2地区

また、地域住民の安全安心の確保及び防災力の向上を図るため、次の事業の早期事業採択をお願いします。

- ① ため池等整備事業（防災重点緊急整備型）山上堤、佐田1号堤地区
- ② 農道保全対策事業若狭梅街道
- ③ 耳川の連合井頭首工

重要5 地域農業の振興に係る支援について



【重要要望事項の内容】

中山間地域の農業振興に係る支援について ※新規

(農林水産部 中山間農業・畜産課：農村振興課／産業政策課)

美浜町では、中山間地域を中心に農業者の高齢化や後継者不足による耕作放棄地の増加等、今後の農業振興に向けて多くの課題に直面している。

今後も農地を維持し、農業者が安心して農業を継続していける施策について、支援をお願いしたい。

あわせて、獣害の影響が少なく、地域に適している果樹（レモン）の産地化について、支援をお願いしたい。

重要6 建設発生土の活用について



【重要要望事項の内容】

北陸新幹線建設事業や舞鶴若狭自動車道4車線化事業に係る 建設発生土の活用について ※継続

(農林水産部 農村振興課、未来創造部 新幹線建設推進課、土木部 高規格道路課／産業政策課、土木建築課)

大量の建設残土は、工事区域に近接する農地における大区画圃場整備の嵩上げ用土や住宅団地造成などの公共事業に活用することが、経済的、合理的であると考えている。

本町においても、北陸新幹線及び舞鶴若狭自動車道の両建設事業の推進に最大限の協力をしたいと考えており、発生残土量や搬入見込み時期など、常に早い段階での情報共有を図っていただきたい。

重要 7 林産物の特産品化に向けた 農地整備及び栽培の支援について



【重要要望事項の内容】

林産物の生産に向けた農地整備及び栽培の支援について ※継続

(農林水産部 中山間農業・畜産課：農村振興課：森づくり課／産業政策課)

林産物の生産に向けた取り組みを進めるにあたり、荒廃農地の活用を含めた農地整備及び栽培の支援をお願いする。

重要 8 畜産振興に向けた総合的な支援について



【重要要望事項の内容】

嶺南広域の畜産振興に向けた総合的な支援について ※継続、若狭町共通

(農林水産部 中山間農業・畜産課／産業政策課)

堆肥化施設の運営方針の検討など、今後嶺南エリアにおいて計画的に畜産振興が図られるよう支援をお願いしたい。

重要 9 ヒシの流出防止対策について



【重要要望事項の内容】

ヒシの流出防止対策について ※継続、若狭町共通

(土木部 河川課、エネルギー環境部 自然環境課／産業政策課)

漁業、観光資源等を保全することで、安全・安心及び魅力向上が図られることから、オイルフェンス設置にかかる予算の確保及び維持管理をお願いしたい。

重要 10 海洋ゴミ処理等にかかる総合的な支援について



【重要要望事項の内容】

海洋ゴミの処理等にかかる総合的な支援について ※継続

(エネルギー環境部 循環社会推進課、農林水産部 水産課／産業政策課)

海洋漂流ゴミについて、沿岸漁業等に支障をきたしているため、回収や処理等について支援をお願いしたい。

重要 11 史跡・史実を活用した観光客誘致に係る支援について



【重要要望事項の内容】

歴史遺産を活かした地域活性化の取り組みについて ※継続

(交流文化部 文化課、新幹線開業課、教育庁 生涯学習文化財課／生涯学習推進課)

町では、旧丹後街道沿線をヒストリーゾーンと位置付け、地域と協議会を組織し、このエリアを活かしたまちづくりを計画的に進めており、歴史遺産を保全し観光による地域振興の核として活用していくための支援をお願いする。

①歴史的景観を活かしたヒストリーゾーン整備について

国吉城址や周辺の自然・城下町景観、国史跡興道寺廃寺跡や昭和の風情を残す河原市・郷市区の町並み等を活かした歴史的景観整備の支援をお願いする。

②歴史遺産を活用した取り組みを周知する情報発信について

嶺南地域の歴史遺産を観光の新たな魅力としてPRするための情報発信や、各市町が実施する周知の取り組みへの支援をお願いする。

③史実を活用した地域活性化の更なる充実について

美浜町では、長野県軽井沢町の旧三笠ホテルを建設した実業家・山本直良や、日本遺産「北前船寄港地・船主集落」への追加認定など、史実の掘り起こしに力を入れている。このような地域の特色ある史実を活かした地域づくり・まちづくりに対して幅広い支援をお願いする。